



岐阜信用金庫



2024年1月31日

カワボウテキスチャード 株式会社との

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、脱炭素化社会実現に向けた取り組みの一環としてカワボウテキスチャード 株式会社（代表取締役社長 川島 和之）と、「**ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしんSLL）^{※1}**」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

ぎふしんSLLは、達成すべき目標を二酸化炭素（CO2）排出量の削減に限定し、脱炭素化に取り組む地域企業を資金調達面と脱炭素化に向けたアドバイス・サポート面で支援するものです。

岐阜信用金庫は、地域金融機関としての責任を果たしつつ、地域のお客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

記

【契約内容】

実行日	2024年1月30日
期間	5年
資金用途	事業資金

【企業概要】

企業名	カワボウテキスチャード 株式会社
所在地	岐阜県羽島市正木町須賀 544 番地の 17
代表者	川島 和之
事業内容	織物・ニット生地製造販売 仮撚・特殊撚糸加工および糸販売
資本金	20 百万円
設立	1964 年（昭和 39 年）3 月

以上

※1 ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン

本商品は、サステナビリティ・リンク・ローン原則^{※2}に基づき、脱炭素（カーボンニュートラル）に特化したローン商品であり、地域事業者の脱炭素経営のすそ野を広げ、お客さまと共に脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指します。

なお、地域の中小企業においては、自社の脱炭素の取り組みについて各種認証の取得や第三者の客観的な評価を得ることへの負担が大きいという課題があることから、岐阜信用金庫では、お客様のCO2排出量の測定やレポーティングを低負担で行える「サステナビリティ・リンク・ローン」のフレームワークを開発しております。

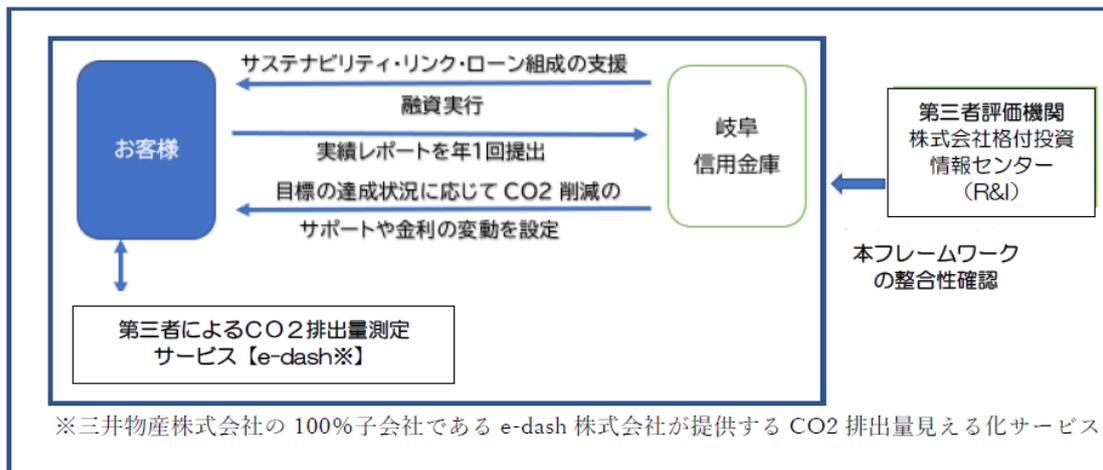
岐阜信用金庫は、このフレームワークによりCO2排出量の削減目標と実績の評価を適切に行うことで、お客さまの脱炭素に関する取り組みの見える化を支援いたします。

なお、当金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローン融資フレームワークは、信用金庫業界では初めて、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則等に整合しているとの確認を取得しております。

※2 サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローンは、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促し、支援することを目指すものとして、世界的な金融機関の代表で構成される作業部会によって策定された原則。

□スキーム図



2024年1月30日

カワボウテキスチャード株式会社

ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローンの取り組みについて

岐阜信用金庫
ソリューション営業部

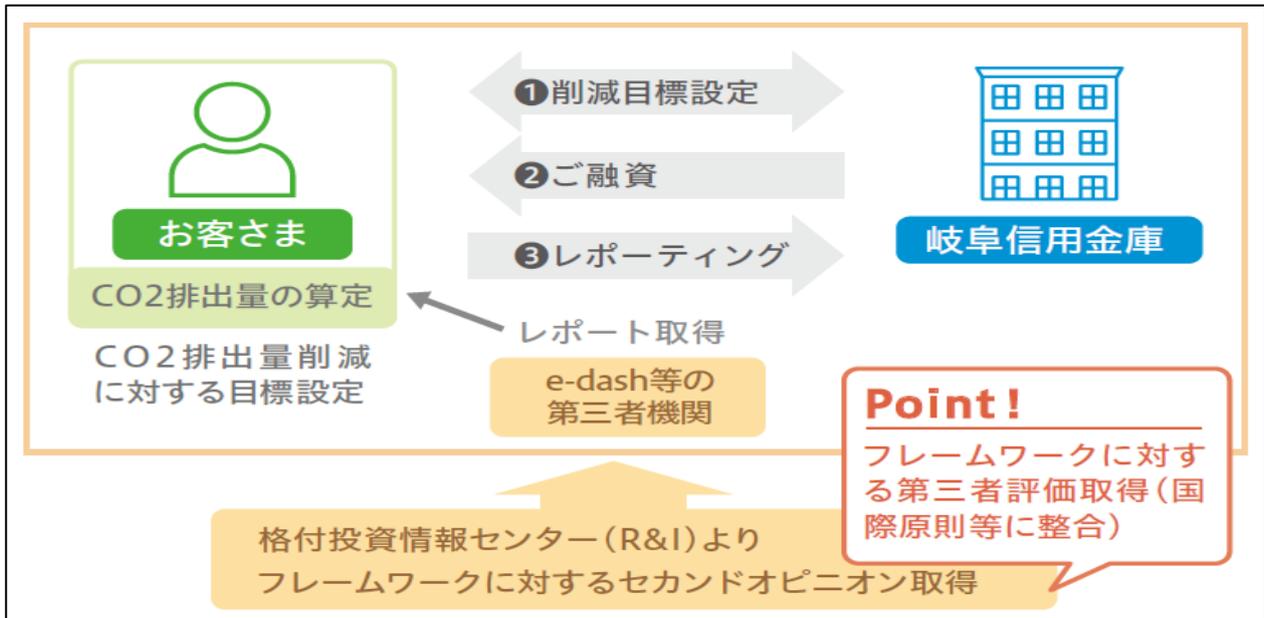
岐阜信用金庫は、2023年3月7日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、CO2排出量（総量又は原単位ベース）の削減率をKPIとして策定した融資フレームワーク「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしん SLL）」が、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版」に対して整合的であるとの評価を取得しています。

《ぎふしん SLL フレームワークに対する R&I の評価について》

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/03/news_release_suf_20230307_jpn_1.pdf

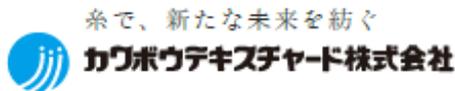
岐阜信用金庫は、ぎふしん SLL の融資フレームワークにて、CO2 排出量の削減を推進するカワボウテキスチャード株式会社の資金調達を支援いたしました。

【岐阜信用金庫の実施体制】



1. 借入人の概要

(1) サマリー



- 当社 HP : <https://www.3930311.co.jp/>
- カワボウテクスチャード株式会社（以下、「当社」と言う。）は、毛織物の尾州産地^{※1}である岐阜県羽島市に本社を構え、時代が求める高い機能を備えた加工糸を使用した衣料や産業資材（インテリア、カーシート）等の製造販売をしている。

※1 尾州産地とは

愛知県一宮市を中心に、津島市、稲沢市、江南市、岐阜県羽島市などの愛知県尾張西部エリアから岐阜県西濃エリアが「尾州」と呼ばれている。

古くから日本最大の毛織物産地として知られ、その規模は国内生産量の約 60%と言われている。

- 糸の加工 ～ 織 ～ 編みまで一貫した「ものづくり」の強みを活かし、時代のニーズに合わせた独創性に優れた製品を開発している。
- さらに織物・ニットの製造を行い、自社内で染工程以外の一貫生産を展開している。
- 有名ブランドに採用されるなどアパレル・一般衣料をはじめ、ホームインテリア（カーテンなど）、オフィスチェア、カーシートなど幅広い用途に展開し、一貫生産の強みを活かして、オリジナリティ溢れる製品づくりを行っている。
- 近年では、カーボンニュートラルの概念に基づき、リサイクルポリエステルや環境への影響が少ないカラー原着糸^{※2}をいち早く導入している。

※2 カラー原着糸とは

原料の段階で顔料を練りこんで着色し、製造した糸。繊維と顔料が一体となっているため、光による変色・色あせや摩擦に強いのが特長。

染色の工程を必要としないため、環境へ負荷がかかる廃液が生じず、環境に優しいエコな糸。

(2) ファクトリー

- 当社の主な生産拠点は以下の通りである。

本社羽島工場 (岐阜県羽島市)	揖斐工場 (岐阜県揖斐郡揖斐川町)	中国工場 (中国江蘇省南通市)
仮撚工場、エアー工場 織物工場、ニット工場	撚糸工場	撚糸工場、エアー工場

(3) テクノロジー

編	ニット工場		<p>ニット工場はコンピューター機および無地機を保有し、自動車内装材を中心とした産業資材（インテリア、カーシート等）に特化した工場。</p>
織	織物工場		<p>多種多様な糸に対応したプロジェクトル織機で、カーシート・イス張り・服地・カーテンなど様々な付加価値の高い織物を製造。</p>
糸加工	エア加工		<p>空気圧を使用して複数本の糸を1本の糸の様に交絡させるインターレース加工^{※3}とタスラン加工^{※4}。積み重ねられた経験と知識、精鋭されたパーツ類、独自に手を加えたマシンを使用して「超極太タスラン糸」も生産可能。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※3 インターレース加工とは 糸の進行方向に対して垂直にエア圧をかけることで、フィラメント同士を絡ませる加工。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※4 タスラン加工とは 糸の進行方向に対して並行にエア圧をかけることで、フィラメント同士をかき高く、ループ状に絡ませる加工。</p> </div>
	仮撚加工 (PIN タイプ)		<p>PIN タイプ仮撚加工機 ポリエステルやナイロンなどフィラメントに仮撚加工を施し、機能性・意匠性を持たせている。高い伸縮性と嵩高性を持たせたストレッチ糸、ポリエステルの特徴を残したまま、シルクやレーヨンのような光沢感・風合いを表現した超光沢糸、スパンライク糸やスラブ糸など、独自の手法と複合仮撚で紡がれる多彩な表情をもつ「PIN タイプ仮撚加工機」を生産。</p>

(4) サステナビリティ

・SDGs 行動宣言

2022年8月15日

SDGs行動宣言

カウボウケミスチャード株式会社

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
自然環境・生物多様性の保全		2022年3月にGRS認証を取得。まずは、GRS認証は、リサイクル素材の供給元から、最終製品までを一貫して認証するものです。弊社は環境でやさしいリサイクル素材を使用することで、持続可能な繊維生産・リサイクル生産への貢献を目指します。
ワーク・ライフ・バランス		多様な人材が能力と個性を注ぎ、すべての従業員が、働きに誇り・生き生きと働くことができる職場づくりを推進していきます。積極的に働き方改革を推進し、従業員にさまざまな働き方を提供していきます。
責任ある企業行動		品質基本方針を定め、品質管理強化を目指し、人に優しい・安心・安全な製品を提供していきます。地元人材を採用し、技術の継承・新商品の開発に注力しています。また、本社内には太陽光発電を設置済みであると共に省エネ、節電に努めています。

カウボウケミスチャード株式会社は創業以来、新しい分野に挑戦するとともに、糸の加工・織・編みまでの一貫した『ものづくり』の強みを活かし、独創性に優れた製品を開発しております。国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、持続可能な社会の実現につとめることを宣言いたします。

※本宣言書は東京海上日動火災保険、十六銀行の監修により作成いたしました。

・健康経営への挑戦 GOAL : 3、8

お客様に最高の製品をお届けするためには、**社員の心身の健康づくり**が欠かせない。**残業時間の削減**や**有給取得率の向上**、**健康診断の実施**など、生き生きと働ける職場環境の整備に注力している。

・太陽光発電の設備 GOAL : 7

羽島工場内約 4,000 m²の敷地に、1,500 枚を超える太陽光パネルを設置。晴天時には **350kw/h の電気**を生み出している。

・リサイクルポリエステルを導入 GOAL : 12

回収されたペットボトルから作られる再生原料・リサイクルポリエステルを導入している。

取り扱うポリエステル糸の一部は、サステナブルな素材として、**GRS 認証を取得**している。環境への配慮と高い意匠性を両立させた製品を作るため、日々研究開発に取り組んでいる。

・CO2 フリー電気の導入

当社は 2023 年 7 月より CO2 フリー電気である、「**GREEN でんき**」及び、岐阜県内の再生可能エネルギー発電所を利用した CO2 フリー電気である「**ぎふ清流 GREEN でんき^{※5}**」の購入契約を締結。

※5 ぎふ清流 GREEN でんきとは

中部電力ミライズが 2021 年より、岐阜県内を中心とした法人のお客様向けに、同県内に立地する水力発電所の再生可能エネルギー由来の環境価値を活用した県産の CO2 排出量ゼロの電気として販売している。



2. KPI の選定

(1) KPI の概要

- KPI は当社における売上高単位の CO2 排出量（原単位ベース）の削減率である。

3. SPT の設定

(1) SPT の概要

- SPT は 2023 年 2 月期との対比で、2028 年 2 月期に CO2 排出量を 21.0%削減する。
- CO2 排出量の判定は、決算期ごととし、初回判定は 2025 年 2 月期とする。なお、基準年は 2023 年 2 月期とする。
- 当グループの CO2 排出量の 90%以上が本社羽島工場で使用する電気・ガソリンであり、本 SLL では本社羽島工場で使用する電気・ガソリンによる CO2 排出量を SPT の基準とする。

SPT				
決算期	2025/2	2026/2	2027/2	2028/2
2023 年 2 月期比削減率	▲8.4%	▲12.6%	▲16.8%	▲21.0%

(2) SPT の野心性

① SPT の水準感

- 当社は大手繊維商社より高い機能を備えた加工糸を衣料や産業資材用に製造販売をしており、繊維業界のサプライチェーンの一環を担っている。サプライチェーンを担う企業として脱炭素化への取り組みを強化しており、SBT 認定における Scope1、Scope2 に求められる水準を一つの基準として設定している。
- SBT では、温室効果ガスの総排出量における削減目標を定めるが、本 SLL では脱炭素化への第一歩として原単位での目標を設定し、2023 年 2 月期比で 2024 年 2 月期以降 2028 年 2 月期まで、4.2%/年の CO2 排出量削減を SPT として設定した。
- なお、国内企業で SBT の認定を取得している企業は中小企業向けを含め 601 社（2023 年 9 月 30 日現在）となる。

② SPT の達成手段

- SPT 達成の手段は、投資改善として「省エネ設備導入」「自家消費型の太陽光パネル設置」、運用改善として「省エネ最適化診断等の実施」「CO2 フリー電気の購入」を計画している。
- 「省エネ設備導入」に関しては、省エネ性能を考慮した設備投資計画を策定し、導入していく。
- 「自家消費型の太陽光パネル設置」に関しては、脱炭素化の流れを考慮し、設備投資実施時期を検討していく。
- 「省エネ最適化診断等の実施」に関しては、一般財団法人省エネルギーセンターの省エネ最適化診断等を活用し、現状分析を実施した上で省エネの推進を検討・実行する。
- 「CO2 フリー電気の購入」に関しては、CO2 排出量削減のために GREEN でんきやぎふ清流 GREEN でんきの購入量を増やすことを検討していく。

③ SPT の野心性

- 2023年2月期を基準として、2024年2月期から2028年2月期まで、毎年4.2%のCO2排出量削減を目標としている。年4.2%の削減目標は、SBT水準であり、大企業においてもトップレベルの水準であることから十分に野心的といえる。

(3) SPT の妥当性

- 岐阜信用金庫は当社との対話や提出資料に基づき、SPTを設定した。設定したSPTはぎふしんSLLの想定するCO2排出量削減率の基準を満たすものである。

4. ローンの特性

- 優遇金利を前提とすることでCO2排出量削減を動機付けている。
- 当初から優遇金利を適用しているため、SPT達成時に追加で金利引き下げは行わない。
- 単期でSPTが未達成となったとき、目標を達成するための事業計画の作成を求める。
- 2期連続でSPTが未達成となったとき、融資金利を0.1%引き上げる。
- 以後、SPT未達成が続く限り、融資金利は引き上げられたままとなる。
- 上記のようなローン設計により、貸出条件と当社のSPTに対するパフォーマンスが連動しており、SPTの目標達成のインセンティブとなっている。

5. レポートニング

- 当社は岐阜信用金庫に対し毎年1回、SPTの達成状況について報告する。

6. 検証

- KPIの実績値に関して、当社は第三者機関から検証を受けたレポートニング資料等を岐阜信用金庫に報告する。
- 岐阜信用金庫はレポートニング資料等の内容からSPT達成の判定について評価する。

以上